

経営学部3年 計良杏実

留学先: 建陽大学(韓国)

留学期間: 2025年2月~2026年2月

皆さん、初めまして。経営学部に所属している3年、計良杏実です。私は、2025年2月~2026年2月までの1年間、韓国で留学生活をしていました。

私は、韓国の論山というところにある建陽大学の語学堂で韓国語の授業を受けていました。論山は、ソウルと釜山の中間に位置するため、田舎で穏やかな場所です。学校付近には、居酒屋さんやカフェ、カラオケ、映画館、スーパーマーケット、オリーブヤング(化粧品店)、薬局など、様々な施設が整っているため、生活に不自由なことはありませんでした。むしろ、田舎だからこそ、日本語を使える人がおらず、無理矢理にでも韓国語を話さなければならない環境が、語学力アップに役立ったと思っています。



私は、もともと大学生活の中で、留学したいという目標がありました。K-pop が好きだったので、1年生の時に韓国語の授業を履修しました。授業を通して、韓国語を学ぶ楽しさを感じ、ハングル検定を受験し、より韓国語を上達させたいと思い、韓国に留学することを決めました。韓国に留学したての私は、ハングルを読むことが出来て、かつ旅行でも何回か韓国には来ていたので、ご飯屋さんで注文したり、レジで決済したりすることはできるレベルでした。

前期(2025年2月~8月)は、周りとのレベルの差を感じ、7月の TOPIK (韓国語能力試験)も準備していたため、ひたすら勉強していました。実は最初は、半年間の留学のプログラムだったので、余計に焦りがありました。クラスは、初級 I から高級までのクラスがあり、私は初級 II スタートでした。学期ごとにクラスが上がっていき、友達もできました。そこでできた友達と一緒に勉強をしたり、つたない韓国語で会話をしたりすることが、私にとって 1 番効果的な勉強方法でした。そのおかげで、7月の TOPIK で 6 級を取得することができました。



私が留学を1年に延長したきっかけは、せっかく韓国語に慣れてきて、話せるようになってきたタイミングで帰国しなければならなかったからです。また韓国人の方との会話を通して、よりネイティブな韓国語を学びたかったからです。後期の留学は、前期よりも余裕があって、とても充実した時間を過ごすことができました。1年の中で、最も大きなイベントである学園祭に参加しました。私と特に印象に残ったのは、K-pop アイドルの講演です。こんなにも近くでアイドルを見たのは初めてだったので、忘れられない時間になりました。



個人的には、ボランティア活動や、同時通訳士や広報団としての経験、韓国人と一緒に料理をつくったり、文化交流したりするプロジェクトに参加させていただきました。どれも初めてのことばかりで期待と不安で始めた活動でしたが、やっていくうちに楽しく、同時に自分自身も成長することができました。その中でも、一番長く活動した広報団が思い出に残っています。広報団は、韓国人3人、アゼルバイジャン人2人と私の6人で構成されています。大学を広報するために、計画から撮影、編集すべてを、自分たちの手で行わなければなりません。メンバー全員で1つの映像をつくるために、話し合い、それを実行するという過程がとても楽しかったです。後期は、日本でも経験したことがない新しいことに挑戦する機会に恵まれ、また韓国人やそのほかの留学生とも仲良くなることができました。



前期と後期では、同じ留学でも全く違うことを学んだような気がしています。前期では、韓国語を理解していく楽しさと、またそれらを実際に使う難しさ、後期では、様々な国の方と交流を通して会話をする楽しさや、新しい価値観を得ることができました。留学中、楽しいことだけではなく、大変な時期もありましたが、それらは全て今、そしてこれからの自分を支えてくれる大きな糧となりました。これからもこの留学生活で得たものを、活かして、色々なことに挑戦し、何事にも粘り強く取り組みたいと思います。また、私と同じように、留学に興味があったり、現在留学を準備したりしている方がいらっしゃったら、その選択を心から応援しています！ファイティン！

